

令和3年度 第1回
北広島市保健福祉計画検討委員会
障がい福祉部会

日時：令和4年3月18日（金） 18時30分～19時00分

場所：北広島市役所 4階 会議室4DEF

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：松坂委員（部会長）、加藤委員（職務代理者）、奥田委員、近藤委員、
西野委員、米沢委員、若狭委員

欠席者：森委員

◇事務局

福祉課：鈴木課長、松本主査、後藤主任、佐藤主事

高齢者・障がい者相談担当：五十嵐主査

子ども発達支援センター：濱田センター長、播磨主査

◇傍聴者 0名

《議事概要》

1 開会

2 部会長挨拶

3 議事

事務局：(1)障がい支援計画の進捗状況について資料1、別紙資料を基に説明。

部会長：事務局からの報告事項について意見や質問はありませんか。

委員：資料1のP21、発達支援講演会の参加者が昨年度と比べ、大きく増加しているが、その要因はどう分析しているか。

事務局：昨年度と違い、オンラインと参集型との併用で開催したこと、開催回数を増やしたこと、人数制限をかけずに参加者を募ったことなどが要因となり、参加者が増えたと分析している。

委員：放課後等デイサービスの利用者は年々増加傾向にあるが、今後の利用者はどう推移していくと見込んでいるか。

また、保護者や利用している児童のニーズにどこまで応えられているのか。

事務局：放課後等デイサービスの利用者については、別紙資料において過去3年間の利用者数の推移を記載している。市独自の助成や国の施策である3歳から5歳児を対象とした障がい児通所支援の無償化、更には各機関の細やかな連携等により早期療育につながるケースが増えており、今後も増加が見込まれる。

利用者のニーズということであるが、複雑な課題を抱えるケースも増えており、ケースごとにありとあらゆるニーズがあると認識している。

細やかな相談支援の充実により個別のニーズに対応していきたい。

委員：現在も新型コロナウイルスの影響により、短期入所は制限されているのか。

事務局：法人や施設ごとに短期入所の受入りに係る対応は異なっているが、現在でも受入れについては、一部制限があると把握している。

委員：障がい者虐待として認定された2件については、虐待者・被虐待者は通報があった後も同じ施設にいるのか。

事務局：虐待を行った施設従事者は、退職していると聞いている。

委員：障がい福祉従事者人材バンクの登録者は現在1名となっているが、もっと登録者を増やすために周知活動等をお願いしたい。

事務局：現在は市ホームページで人材バンクの紹介をしているが、効果的な周知・啓発を検討していきたい。

委員：資料1のP4、子ども発達支援センターにおける発達相談の件数が増加しているのは、コロナによる影響があるのか。

事務局：新型コロナウイルス感染拡大の影響というよりも、近年の発達障がいへの認知度の高まり等を受けて相談に繋がるケースが増えている。

4 その他

5 閉会